

野村ブルーベイ・トータルリターンファンド
(野村SMA・EW向け)2026年9月30日
(月次改訂)

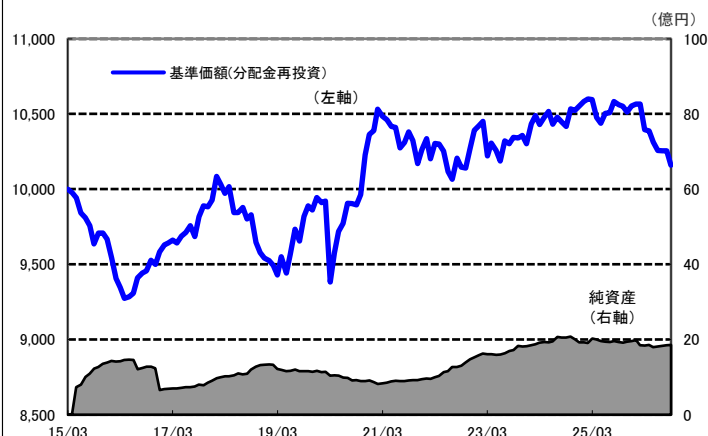
追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

運用実績

2026年9月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日 =10,000 として指数化;月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 10,100 円

※分配金控除後

純資産総額 18.6 億円

- 信託設定日 2015年4月1日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則12月6日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	-0.9%
3ヵ月	-1.0%
6ヵ月	-2.3%
1年	-3.8%
3年	-1.8%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 1.6%

設定来累計 60 円

設定来=2015年4月1日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

ブルーベイ・ファンズ - ブルーベイ・インベストメント・グレード・アブソリュート・リターン・ボンド・ファンド(クラスS-JPY)の資産内容

2026年9月30日 現在

ポートフォリオ特性値

平均格付	A
平均最終利回り	4.9%
平均デュレーション	2.7年
平均スプレッド・デュレーション	2.4年
組入銘柄数	220銘柄

・左記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等(現金を含む)の各特性値(最終利回り、デュレーション、スプレッド・デュレーション)を、その組入比率で加重平均したもの。現地通貨建。また格付の場合は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。
・デュレーション:金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。
・平均格付とは、基準日時点で外国投資法人が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該外国投資法人の発行する受益証券に係る信用格付ではありません。

国・地域別配分

国・地域	純資産比	スプレッド・デュレーション
ドイツ	31.9%	0.3年
米国	18.0%	1.2年
フランス	6.7%	0.3年
日本	6.6%	0.1年
メキシコ	5.8%	0.4年
その他の国・地域	25.4%	0.0年
その他の資産	5.6%	—
合計	100.0%	2.4年

・国・地域は、原則発行国・地域で区分しています。
・スプレッド・デュレーションとは、債券価格のスプレッド(クレジット債利回りと国債利回りの差)変動に対する感応度(変動率)を表しており、この値が大きいほどスプレッド変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

組入上位5銘柄

銘柄	国・地域	債券種別	純資産比
Bundesrepublik Deutschland Bundesanleihe	ドイツ	国債	20.4%
Colombian TES	コロンビア	国債	3.1%
Mexico Government International Bond	メキシコ	国債	2.5%
Japan Government Thirty Year Bond	日本	国債	2.4%
Iceland Rikisbref	アイスランド	国債	1.7%
合計			30.1%

通貨ポジション

通貨	純資産比
ロング(買い建て)上位3通貨	
ユーロ	3.8%
ブラジル・レアル	1.6%
メキシコ・ペソ	1.0%
ショート(売り建て)上位3通貨	
コロンビア・ペソ	-3.2%
米ドル	-2.8%
英ポンド	-1.5%

・実質的な通貨ポジションにかかわらず、原則としてファンドの純資産総額をユーロ換算した額とほぼ同額程度のユーロ売り円買いの為替取引を行なうことを基本とします。

格付別配分

格付	純資産比
AAA	23.9%
AA	0.3%
A	13.7%
BBB	33.8%
BB	15.5%
B	0.3%
CCC以下および無格付	7.0%
その他の資産	5.6%
合計	100.0%

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の低い方の格付によります。

※当資料は、外部委託先であるRBCグローバル・アセット・マネジメント(UK)リミテッドからのデータを使用して作成しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人資産運用業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

下記の事項は、この投資信託をお申込みされるご投資家の皆様に、あらかじめご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

投資リスク

ファンドは、外国投資法人の発行する受益証券等への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等の影響による当該債券等の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、為替、債券、金利、クレジット、又は各種指数等を参照するデリバティブ取引を活用しますので、為替、市場金利、各種参照指数等の変動及び投資対象やデリバティブの取引相手先の信用度に対する市場参加者の認識の変化等の影響を受け、基準価額が下落することがあります。また、デリバティブ取引等のロング・ポジション、あるいはショート・ポジションを構築することにより、投資対象市場の方向性によらず収益の獲得を目指しますので、投資対象市場が上昇した場合でも、収益が得られない場合や損失が発生する場合があります。また、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、取引先リスクなどがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【当ファンドに係る費用】

ご購入時手数料	ありません。
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年0.418%(税抜年0.38%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 年1.158%程度(税込) * ファンドが投資対象とする外国投資法人の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
その他の費用・手数料	組入有望証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
信託財産留保額 (ご換金時)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

＜分配金に関する留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社
★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★ <https://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社> 野村アセットマネジメント株式会社

[ファンドの運用の指図を行なう者]

<受託会社> 野村信託銀行株式会社

[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商 号：野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

加入協会：一般社団法人資産運用業協会 /

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

先月の投資環境

○米国10年国債利回りは上旬、8月の雇用統計を受けてFRB(米連邦準備制度理事会)による利上げ観測が強まり、利回りは上昇(価格は下落)しました。中旬には、8月のCPI(消費者物価指数)がインフレ圧力の強さを示したほか、利上げが行なわれたFOMC(米連邦公開市場委員会)でのウォーシュFRB議長のコメントを受けて追加利上げ観測が高まったものの、原油価格の上昇一服により利回りは横ばいに推移しました。下旬は、引き続きインフレ懸念や追加利上げ観測が根強かったほか、米財務省が実施した買い戻し額が市場予想を下回ったことなどをを受けて利回りは上昇し、月間でも利回りは上昇しました。

○欧州10年国債利回りは、原油価格が上昇したことでインフレ懸念が高まったことや、9月の理事会でECB(欧州中央銀行)が利上げを決定し、理事会後にラガルドECB総裁がインフレの高止まりを警告したことなどから、利回りは上昇し、月間で利回りは上昇しました。

○ドル・円相場は、上旬、日銀審議委員の発言を受けて追加利上げペースが加速するとの見方が広がったほか、円の過小評価に対する日本の措置を支持する旨のベッセント米財務長官の発言などを受けて、円高・ドル安となりました。中旬から下旬にかけては、利上げを決めたFOMC後にFRBがタカ派(金融引き締めに積極的)と受け止められたことや、一方で同じく利上げを決めた日銀金融政策決定会合については市場予想ほどタカ派ではないとの見方がされたことにより、円安・ドル高となりました。なお、月間では円高・ドル安となりました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○月間のファンドの騰落率(分配金再投資)は、-0.94%となりました。

○先月末時点のポートフォリオの状況は、最終利回りは4.9%、平均デュレーション*は2.7年、平均格付はAとなっています。

*デュレーションとは、市場金利変動に対する債券価格変動の感応度を示す指標です。

○格付別配分は、BBB格の比率を高めました。

○国別配分は、ドイツ、米国などの比率を高めました。通貨ポジションは、ユーロ、ブラジルレアルなどをロング(買い持ち)し、コロンビアペソ、米ドルなどをショート(売り持ち)しました。

○金利戦略は、ポートフォリオの保有銘柄の利子収入がプラスに寄与した一方、米5年金利のロング・ポジションなどはマイナスに影響しました。国債戦略では、メキシコのロング・ポジションがマイナスに影響しました。社債戦略は、クレジットのスプレッド(利回り格差)が拡大したためマイナスに影響しました。通貨戦略は、ブラジル・レアルやアイスランド・クローナ、カザフスタン・テング、トルコ・リラのロングはプラスに寄与しました。

今後の運用方針 (2026年9月30日現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○債券市場における利回り水準は魅力的な水準にあります。これは、国債とAI関連の起債増加や、エネルギーおよび食料品価格主導のインフレ懸念、さらには利回り上昇に伴う財政の悪化懸念が複合的に作用した結果です。これらの懸念は決して解消されていないものの、債券市場に対する短期的なセンチメント(市場心理)は過度に弱気になっていると考えています。

○主要中央銀行による利上げは、現在市場で織り込まれている回数を下回る可能性があると考えています。例えば、FRBは12月に利上げを行ない、2027年1-3月期に再度利上げを実施すると予想していますが、来年の春までには米国のインフレ率は2%台後半まで低下する可能性があることとみていることから、FRBが利上げを続ける必要はほとんどなくなると予想しています。

○現在の市場環境を踏まえた投資見通しとして、利回り水準の高止まりを踏まえ、金利デュレーションについてはロング・バイアスとしており、主要中央銀行による利上げは市場で織り込まれている利上げ幅を下回る可能性があるとの見方から、とりわけイールドカーブの短期ゾーンを選好しています。起債増加や財政赤字への懸念を背景に、長期債に対してはより慎重であることから、イールドカーブのスティーピング化(長短金利差の拡大)を見込んだ取引へのバイアスを持っています。

○ソブリン・クレジットについては、ここ最近のフランス国債のスプレッド拡大は正当化され则认为しているものの、イタリアなど他のユーロ圏ソブリンに波及した弱含みは、特にフランスとの相対価値の観点から、魅力的な投資機会を提供し得るとみえています。

○金利のボラティリティ(市場変動性)は引き続きクレジット市場をある程度圧迫する可能性があるものの、主要金利が数十年ぶりの高水準にあるなか、市場環境が安定すれば買い手が債券市場に戻ってくると予想しています。したがって、景気後退リスクが顕在化しない限り、市場が弱含んだ局面ではクレジット・リスク(ペータ・リスク)を積み増す方針です。

○ボトムアップの観点からは、新規発行の増加が選別的な投資機会を創出すると考えており、とりわけテクノロジー銘柄に関しては柔軟で機敏な運用をしていきます。より広範に見れば、市場全体のスプレッドが魅力に欠ける環境を踏まえれば、これらのセクターに投資家の需要は集まるとの見方から、金融および事業会社の劣後債を引き続き選好しています。また、市場の懸念が過度と見られる、急成長中の生命保険会社にもバリュー(割安)を見出しています。一方で、シクリカル(景気敏感)性の強いセクターや格下げリスクの高いBBB格銘柄などは引き続き回避する方針です。

○今後の見通しとして、絶対利回りが比較的高い水準にあることを踏まえ、社債および投資適格債券全般について、中期的目線で堅調なトータル・リターンを見込んでいます。また、市場環境の進展とともに収益獲得機会も増加すると予想しています。現時点で、市場全体のスプレッドはタイトな水準にあり、セクターおよび発行体間のばらつきは限定的に見えるものの、歴史が示す通り、ボラティリティは常に遅かれ早かれ高まるものです。したがって、当戦略は、引き続き市場の調整に対応し、魅力的な投資機会が現れた時にはそれを活用できるように十分な柔軟性を持たせた設計としています。さらに、過去18ヵ月間にわたり低水準で推移してきたボトムアップのパフォーマンス分散は拡大していくと見ています。特に、一部のビジネスモデルが深刻な構造的課題に直面していることにより、その傾向は強まるでしょう。AIおよびより広範な技術的破壊がこの傾向を加速させる可能性が高く、発行体に対する競争圧力と投資家による精査の両方が強まることになるでしょう。ボトムアップの銘柄選択はこれまで以上に重要となっており、セクターや発行体、地域を横断したアクティブな銘柄選択の価値を裏付けるものとなっています。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

野村ブルーベイ・トータルリターンファンド(野村SMA・EW向け)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。